

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」  
第 36 回（通算第 115 回）定例会 会議録

日 時：令和元年 9 月 17 日（火） PM7：00～8：30  
場 所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室  
出席者： 25 名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：00～20：40】

19：00～	開 会
19：00～19：05	情報提供 ・南和歌山MC研修会「ユマニチュード」
19：05～19：45	研 修 「救急安心センター事業 “ #7119 ” の取り組み」 講師：田辺市消防本部 横矢 悟 氏
19：45～20：30	意見交換と発表
20：30	閉 会

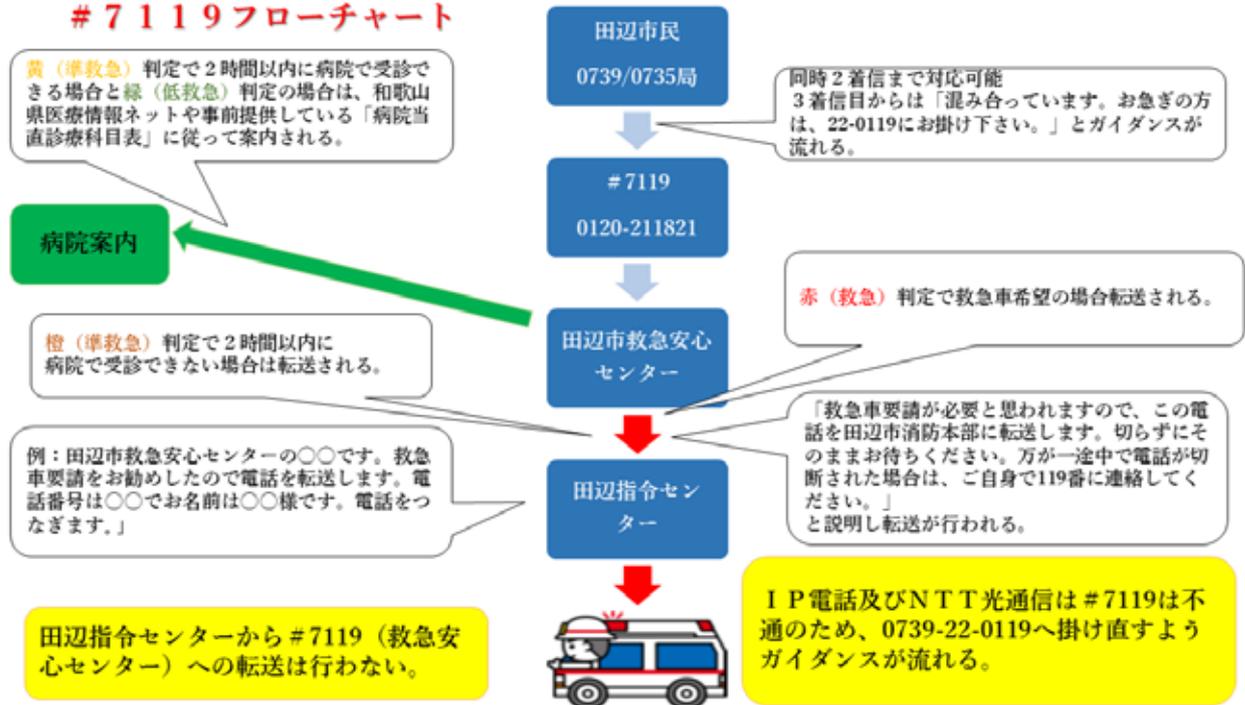
【研修内容】

講義内容

- ・田辺市消防本部の概況  
田辺市と上富田町を管轄。人口は約 90,000 人。消防職員 150 人。1 本部・1 署 6 分署。山間部を含むためエリアは広い。平成 30 年のデータで、救急 5,633 件・火災 38 件。
- ・田辺市における活用可能な救急医療資源  
本署と 6 つの分署の救急車以外は県立医大病院のドクターヘリ・南和歌山医療センターのドクターカー・白浜空港にある防災ヘリ（医師同乗システム）。ドクターヘリは約 15 分で現場へ。でも基本は救急車になるので、龍神や本宮などから旧市内の大病院へ搬送すると、2 時間ぐらい地元に救急車がない状態になる。
- ・“ #7119 ” の取組の経緯  
高齢化を背景に、救急件数の増加が予想される  
救急隊が消防隊を兼務しているので、救急出動中の消防力の確保が厳しい  
財政状況が厳しく、現状のサービス提供のために、実情に応じた消防救急体制の再構築が必要  
民間委託方式による “ #7119 ” 事業を導入。県内では田辺のみ。

・“ #7119 ” の流れ

#7119 フローチャート



・“ #7119 ” の事業効果

救急車の要請をためらう潜在的重傷者の発見につながっている  
市民への安心の提供につながっている

・現状と課題

限られたエリア（田辺市と上富田のみ）でのサービス  
携帯電話で利用した場合、エリア外から着信する可能性があり断らざるをえない  
逆に限られたエリアのメリット  
スケールメリットの観点から都道府県単位がベスト

・消防から和歌山県へのアクション

総務省は、事業実施地域の人口規模が大きくなるほど事業費が抑えられることから、都道府県単位での実施を推進すべき

県単位での事業実施・サービス提供の検討。

和歌山県医務課が行っている“ #8000 ” 事業との共同運用

【意見】

もう少し聞いてみたいこと・思うこと

・『 #7119 』と『 119 』、『 #8000 』の違いは？

どちらも相談には応じることはできるが、『 #7119 』は医療従事者がプロトコルに沿って症状を確認して、適切な判断をして、救急車が必要であれば消防へつないでくれるし、そうでなければその後の対応を教えてくれる。『 119 』は医療従事者ではなく、症状があることはわかるけどどうしていいのかわからないので病院へ搬送するしかない。『 #8000 』は、診療している病院の情報はもらえるが、見てもらえるかどうかわからない。

・「 119 」へかけたなら田辺へつながる白浜町も #7119 のエリアになればいいのに・・・

・ unnecessary 救急要請の抑制につなげるためのどう広報するのか

搬送にかかる費用を伝えるのも一つの情報。広報のターゲットをどこにおくのかも課題

・ #7119 は不安を解消させるのに役立っている

・ 病院側の現実もある（専門性の高い疾患の搬送先や救急医療は総合医へ）

・ 延命についての意思確認

本人の意思が分からない場合、どう判断をすればいいのか

掘り下げてきいておくことが大切

・ #7119 のエリアは拡大されるのか？

他の消防本部や県の参入による。救急需要と医療費を見ていくという国の流れがある。効果判定

がしにくいので、広がりにくい。

- ・救急車の有料化も言われているが、1回出動したらどのくらい費用がかかるのか？

過去のデータだが、夜間で75,000円・昼間で40,000円とも言われている

- ・車かわりに救急車を呼ぶ人を減らすことにつながる

- ・若い人への周知が必要では。たとえば、スーパーや学校・病院。愛称をつけるとか、体験コーナー

- ・田辺市の救急車の台数は？

9台

- ・県の医療情報ネットの情報活用も重要

- ・救急時に携帯電話が有効。でも、受けられるけどかけられない高齢者がいる。架電する練習も必要では。

- ・#7119のシステム利用料は？

相談1件1,600円+回線料

## 【次回の定例会】

以下の日程で実施する。

**日時**：令和元年10月15日（火） 午後7時～

**場所**：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

**内容**：テーマは未定。ネスレ日本株式会社の人が講師。